SMC

New

CE

冷凍式エアドライヤ

EU・東南アジア向仕様

EC指令適合品（CEマーク付）

電源電圧:単相AC230V（50Hz）

IDFA□E Series

冷媒 **R134a(HFC)**
R407C(HFC)

オゾン破壊係数 “0”

ステンレス製熱交換器採用により
耐食性向上（IDFA4E～37E）

シリーズ	処理空気量m³/h（ANR） 出口空気圧力露点 3℃	7℃	10℃	使用冷媒	定格入口条件	接続口径
IDFA3E	12	15	17	R134a（HFC）	35℃ 0.7MPa	Rc3/8
IDFA4E	24	31	34			Rc1/2
IDFA6E	36	46	50			Rc3/4
IDFA8E	65	83	91			
IDFA11E	80	101	112			
IDFA15E	120	152	168			Rc1
IDFA22E	182	231	254	R407C（HFC）		R1
IDFA37E	273	347	382			R1½

INDEX

1. 標準品

IDFAシリーズ
標準入気タイプ
定格入口空気温度:35℃

型式	定格入口条件	処理空気量(m³/min[ANR]) 出口空気圧力露点 3℃	7℃	10℃	使用冷媒	管接続口径	ページ
IDFA3E	35℃ 0.7MPa	12	15	17	R134a(HFC)	Rc3/8	P.3〜P.5
IDFA4E		24	31	34		Rc1/2	
IDFA6E		36	46	50		Rc3/4	
IDFA8E		65	83	91			
IDFA11E		80	101	112			
IDFA15E		120	152	168		Rc1	
IDFA22E		182	231	254	R407C(HFC)	R1	
IDFA37E		273	347	382		R1½	

2. オプション品

オプション内容	適用型式	型式表示 (末尾:オプション記号)	ページ
圧縮空気冷却用	**IDFA3E〜11E**	**IDFA□E-23-A**	P.6
銅管防錆処理	**IDFA3E〜37E**	**IDFA□E-23-C**	
中圧空気用 (オートドレン用ケース:レベルゲージ付金属ケース)	**IDFA6E〜37E**	**IDFA□E-23-K**	
中圧空気用 (ヘビーデューティオートドレン付)	**IDFA4E〜37E**	**IDFA□E-23-L**	
漏電ブレーカ付	**IDFA4E〜37E**	**IDFA□E-23-R**	P.7
運転、異常信号取出用端子台付	**IDFA4E〜37E**	**IDFA□E-23-T**	

3. 別売付属品

名称	ページ
防塵フィルタセット	P.8
基礎ボルトセット	

4.資料(凝縮水算出・露点換算表)…P.9

5.安全上のご注意…後付1〜3

IDFA□E Series
型式の選定方法

エアドライヤの選定は、使用条件を考慮した補正空気量で行う必要があります。
以下の手順により選定を行ってください。

1 補正係数の読みとり

ご使用条件の該当する補正係数Ⓐ～Ⓓを下表より読みとってください。

IDFA Eの場合の選定例

ご使用条件		データ記号	補正係数注)
入口空気温度	40℃	Ⓐ	0.83
周囲温度	35℃	Ⓑ	0.83
入口空気圧力	0.5MPa	Ⓒ	0.92
使用空気量	31m³/h	—	—

注）下表より読みとった値

2 補正空気量の算出

補正空気量を次の式より算出してください。
補正空気量=使用空気量÷(補正係数Ⓐ×Ⓑ×Ⓒ)

補正空気量＝31m³/h÷(0.83×0.83×0.92)＝48.9m³/h

3 機種選定

補正空気量を上回る処理空気量の機種を仕様表より選定してください。
(処理空気流量は下表データⒹを参照してください。)

補正空気流量が48.9m³/hより必要な出口空気圧露点が3℃の場合には**IDFA8E**を、また10℃圧力露点が必要な場合は**IDFA6E**が選定されます。

4 オプション

P.2をご参照ください。

5 型式の決定

P.2をご参照ください。

6 別売付属品の選定

P.7をご参照ください。

データⒶ　入口空気温度

入口空気温度℃	補正係数
5～25	1.30
30	1.25
35	1
40	0.83
45	0.7
50	0.6

データⒷ　周囲温度

周囲温度℃	補正係数	
	IDFA3E～11E	**IDFA15E～37E**
20	1.1	1.1
25	1	1
30	0.91	0.97
35	0.83	0.89
40	0.79	0.77

データⒸ　入口空気圧力

入口空気圧力MPa	補正係数	
	IDFA3E～11E	**IDFA15E～37E**
0.3	0.80	0.72
0.4	0.87	0.81
0.5	0.92	0.88
0.6	0.96	0.95
0.7	1.00	1.00
0.8	1.04	1.06
0.9	1.07	1.11
1	1.1	1.16
1.2	1.16	1.21
1.4	1.21	1.25
1.6	1.25	1.27

データⒹ　処理空気量

型式		処理空気量m³/h(ANR)				
		IDFA3E	**IDFA4E**	**IDFA6E**	**IDFA8E**	**IDFA11E**
出口空気圧力露点	3℃	12	24	36	65	80
	7℃	15	31	46	83	101
	10℃	17	34	50	91	112

型式		処理空気量m³/h(ANR)		
		IDFA15E	**IDFA22E**	**IDFA37E**
出口空気圧力露点	3℃	120	182	273
	7℃	152	254	347
	10℃	168	254	382

注）オプション仕様A(圧縮空気冷却用)の場合は処理空気量が異なります。P.6をご参照ください。

使用冷媒 R134a(HFC), R407C(HFC)

IDFA□E Series

3E,4E,6E,8E,11E,15E,22E,37E

(入口空気温度:35℃)

型式表示方法

IDFA **8** E－**23**－ (注1)

無記号
A
C
K
L
R
T

サイズ

サイズ
3
4
6
8
11
15
22
37

電圧

記号	電圧
23	単相 AC230V(50Hz)

● オプションおよび組合せ表(サイズ／オプション)

記号(注2) / オプション内容 / サイズ	無記号	A	C	K	L	R	T
	なし	圧縮空気冷却用	銅管防錆処理	中圧空気用(オートドレン用ケース:レベルゲージ付金属ケース)	ヘビーデューティオートドレン付(中圧空気用)	漏電ブレーカ付	運転、異常信号取出用端子台付
3	●	●	●	—	—	—	—
4	●	●	●	—	●	●	●
6	●	●	●	●	●	●	●
8	●	●	●	●	●	●	●
11	●	●	●	●	●	●	●
15	●	—	●	●	●	●	●
22	●	—	●	●	●	●	●
37	●	—	●	●	●	●	●

注1) "Gねじ(PFねじ)"にはRねじ(PTねじ雄)で対応できるため、ねじ仕様"F"は設定していません。IDFA3E～15EにはRねじ(PTねじ雄)変換用アダプタを標準で同梱しています。

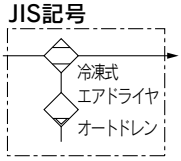
注2) 複数のオプションの組合わせはアルファベット順に表示してください。
ただし、以下の組合せは出来ません。
・K, Lの組合せ(共にオートドレンで1個しか組み付けられない為)。

注3) オプション仕様の詳細については、P.6をご参照ください。

標準仕様

仕様			型式	標準入気							
				IDFA3E	IDFA4E	IDFA6E	IDFA8E	IDFA11E	IDFA15E	IDFA22E	IDFA37E
定格仕様 注2)	処理空気量 m^3/h (ANR)注1)	出口空気圧力露点 3℃		12	24	36	65	80	120	182	273
		出口空気圧力露点 7℃		15	31	46	83	101	152	231	347
		出口空気圧力露点 10℃		17	34	50	91	112	168	254	382
	入口空気圧力		MPa	0.7							
	入口空気温度		℃	35							
	周囲温度		℃	25							
使用範囲	使用流体			圧縮空気							
	入口空気温度		℃	5～50							
	入口空気圧力		MPa	0.15～1.0							
	周囲温度(湿度)		℃	2～40(相対湿度 85%以下)							
電気仕様	電源電圧			単相AC230V[電圧変動±10%]50Hz							
	消費電力		W	180			208	385	470	760	
	運転電流		A	1.2			1.4	2.7	3.0	4.3	
適用漏電ブレーカ容量注3)			A	5					10		
コンデンサ				空冷式							
冷媒				R134a(HFC)						R407C(HFC)	
オートドレン				フロートタイプ (ノーマルクローズ)		フロートタイプ (ノーマルオープン)					
接続配管口径				Rc3/8	Rc1/2	Rc3/4			Rc1	R1	R1½
付属品				六角ニップル						—	
質量			kg	18	22	23	27	28	46	54	62
塗装色				本体パネル：アーバンホワイト1 ベース：アーバングレー2							
適合規格				EU指令(CEマーク付)							

JIS記号

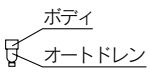


注1) ANRは20℃大気圧、相対湿度65%の状態値を表わします。
注2) 定格仕様以外は型式の選定方法(P.2)によって型式を選定してください。
注3) 漏電ブレーカは感度電流30mAを別途購入してください。
注4) 本装置に短時間の停電(瞬時停電を含む)があった場合、正常に運転を再開するのに時間がかかるか、復電しても保護機器の作動により正常に起動できない場合があります。

交換部品

型式	IDFA3E	IDFA4E	IDFA6E	IDFA8E	IDFA11E	IDFA15E	IDFA22E～IDFA37E
オートドレン交換部品品番注5)	AD38		AD48				

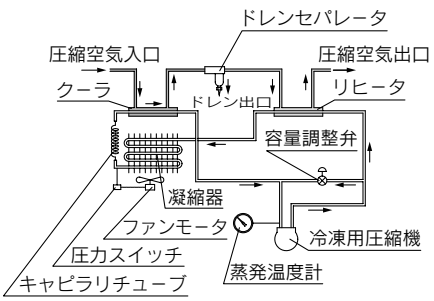
注5) ボディ部を除いたオートドレン部のみの品番です。ボディ部は交換できません。



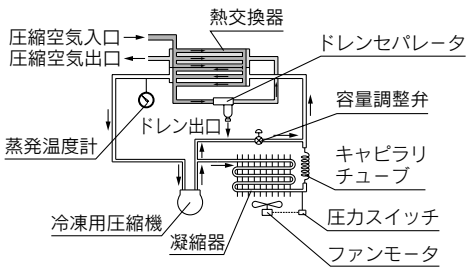
構造原理図(空気・冷媒回路図)

エアドライヤに入ってきた湿った熱い空気は、クーラリヒータ(熱交換器)で冷却されます。この時凝縮された水分はオートドレンで自動的に排出されます。水分が分離された空気はクーラリヒータ(熱交換器)により加熱され乾燥した空気となって二次側に供給されます。

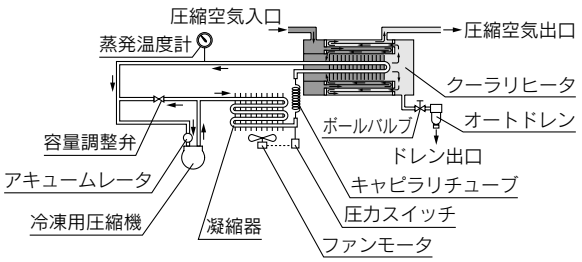
IDFA3E



IDFA4E,IDFA6E
IDFA8E,IDFA11E,IDFA15E

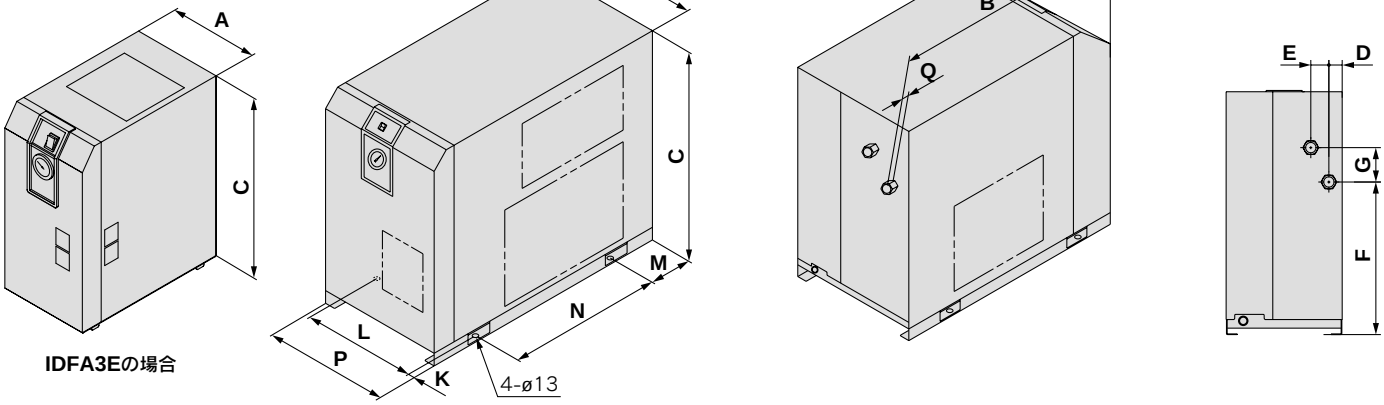


IDFA22E,IDFA37E

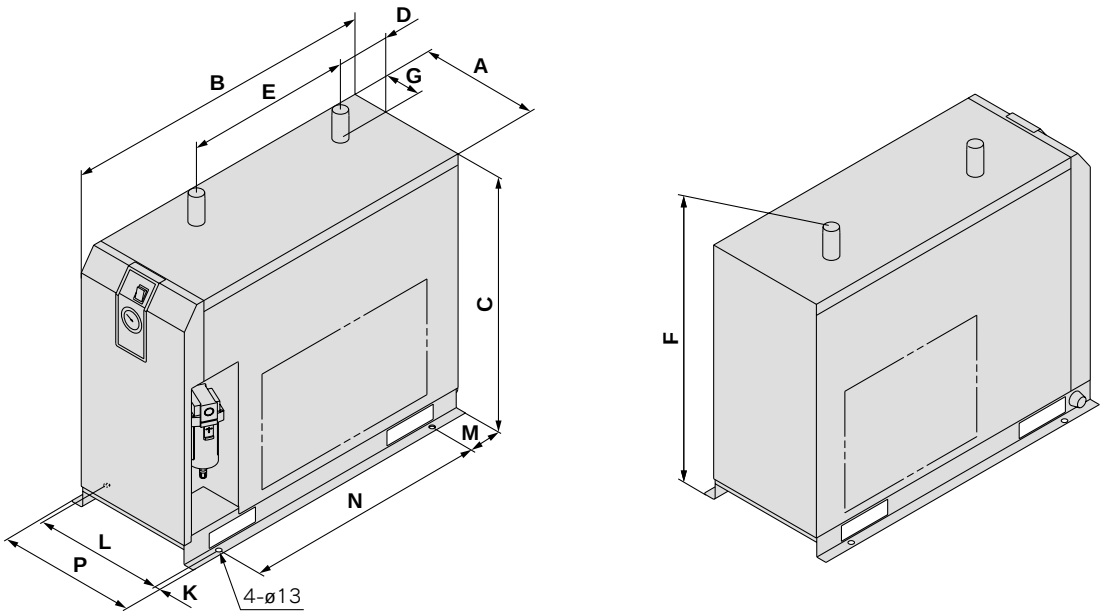


外形寸法図

IDFA3E～15E



IDFA22E,IDFA37E



寸法表 (mm)

型式	管接続口径	A	B	C	D	E	F	G	K※	L※	M※	N※	P	Q
IDFA3E	Rc3/8	226	410	473	67	125	304	33	36	154	21	330		15
IDFA4E	Rc1/2		453	498			283					275		13
IDFA6E		270	455		31	42		80		240	80		—	
IDFA8E	Rc3/4		485	568			355		15			300		15
IDFA11E														
IDFA15E	Rc1	300	603	578	41	54	396	87		43	101	380	314	16
IDFA22E	R1	290	775	623	134	405	698	93	13	25	85	600	340	—
IDFA37E	R11/2		855									680		

※IDFA3の場合は、脚位置を示します。

IDFA□E Series
オプション仕様①

オプション仕様品の型式表示方法については<u>P.3をご参照ください。</u>

A 圧縮空気冷却用

オプション記号 | IDFA3E～11E

冷却除湿した空気を加熱することなく、そのまま取出します。
処理空気量は、標準品よりも少なくなります。
(外観寸法は標準品と同じです。)
注)ドライヤ以降の配管ならびに機器は結露防止のため、断熱処理を行ってください。

処理空気量

型式	IDFA3E	IDFA4E	IDFA6E	IDFA8E	IDFA11E
処理空気量m^3/h(ANR)	18	23	29	32	39

条件：入口空気圧力0.7MPa　入口空気温度35℃
出口空気温度10℃　周囲温度25℃

C 銅管防錆処理

オプション記号 | IDFA全機種

硫化水素、亜硫酸ガスなどの腐食性雰囲気の中で使用する場合に銅、銅合金部の腐食を最小限にします。(腐食を完全に防止することはできません。)
特殊エポシキ塗装部：銅管部と銅合金部。ただし熱交換部や電気まわりなど機能に支障のある部分を除きます。

※腐食による故障は保証外となります。

K 中圧空気用(オートドレン用ケース:レベルゲージ付金属ケース)

オプション記号 | IDFA6E～37E

オートドレンを標準品から中圧仕様のものに変更したものです。
オートドレンにはドレンの水位が確認できるレベルゲージ付金属ケースを使用しています。

仕様

1. 最高使用圧力　1.6MPa
2. 外形寸法…標準品と同じ

交換部品

型式	オートドレンアッセンブリ品番	備考
IDFA6E～37E	IDF-S0086	オートドレンAD48-8-X2110、断熱材、ワンタッチ継手を含む

L ヘビーデューティオートドレン付(中圧空気用)

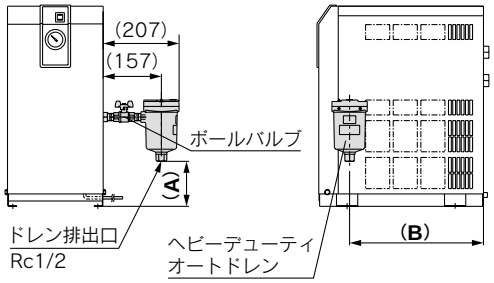
オプション記号 | IDFA4E～37E

標準品で使用しているフロート式オートドレンをヘビーデューティオートドレン(ADH4000-04)につけかえたものでより確実なドレン排出ができます。

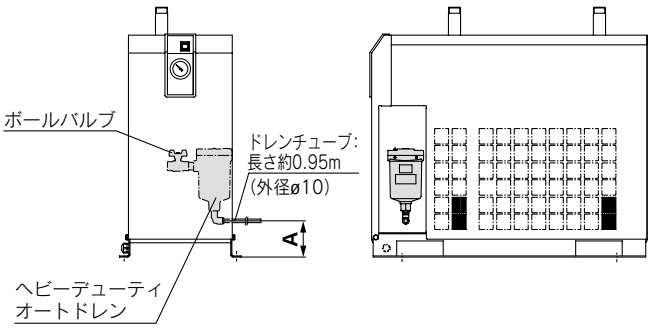
寸法表 (mm)

型式	A	B
IDFA4E	55	348
IDFA6E	67	
IDFA8E,11E	139	378
IDFA15E	47	494

IDFA4E～15E

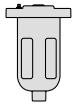


IDFA22E,37E



注1) ヘビーデューティオートドレンとボールバルブはドライヤ本体に同梱してあります。本体へは、お客様にて取付け願います。(IDFA22E, 37Eは除く。)
注2) ドレン配管のための管継手、チューブはお客様にて準備願います。(IDFA22E, 37Eは除く。)

交換部品:ヘビーデューティオートドレン

型式	交換部品品番(名称)	形状
IDFA4E～15E	ADH4000-04 (ヘビーデューティオートドレン)	ヘビーデューティオートドレン
IDFA22E, 37E	ADH-E400 (排気機構部交換キット)	 排気機構部交換キット ハウジング(取付けてあるものを使用)

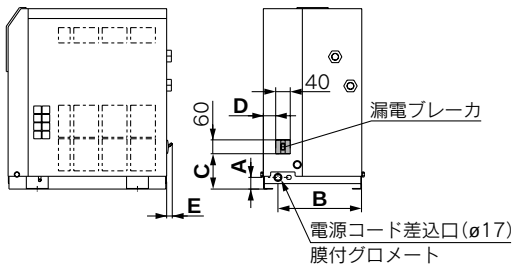
IDFA□E Series
オプション仕様②

オプション仕様品の型式表示方法についてはP.2をご参照ください。

R オプション記号 漏電ブレーカ付 IDFA4E～37E

漏電ブレーカをエアドライヤ本体内に取付けた製品で設置時の電気配線工数を削減します。

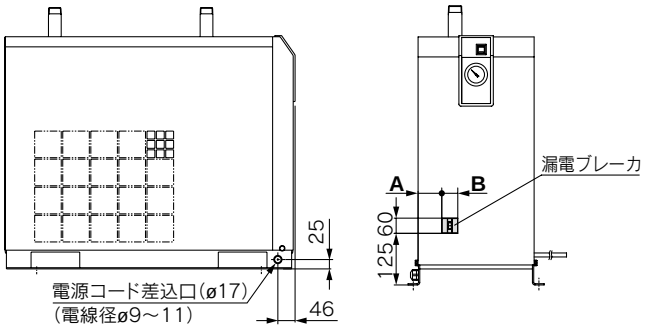
IDFA4E～15E



寸法表 (mm)

型式	A	B	C	D	E
IDFA4E,6E,8E,11E	32	230	97	34	15
IDFA15E	43	258	102	82	–

IDFA22E,37E



寸法表 (mm)

型式	A	B
IDFA22E-23	59	40
IDFA37E-23		

ブレーカ容量と感度電流

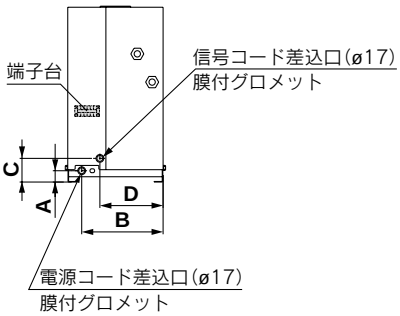
電圧	型式	ブレーカ容量	感度電流
230Vタイプ	**IDFA4E-23,IDFA6E-23 IDFA8E-23,IDFA11E-23**	5A	30mA
	IDFA15E-23,IDFA22E-23 IDFA37E-23	10A	

T オプション記号 運転、異常信号取出用端子台付 IDFA4E～37E

電源の接続のほか、運転信号と異常停止信号を取り出せる端子を設けたものです。(無電圧接点)
なお、遠隔操作を行う場合は、エアドライヤのスイッチをONにした状態にて電源側で行ってください。
接点容量　運転信号、異常信号ともAC230V, 4A, DC24V, 5A
最小電流値　運転信号、異常信号とも20V, 5mA(AC/DC)

注) 入出力信号を使用する場合は、図面または取扱説明書に記載された電気回路を必ず確認してください。

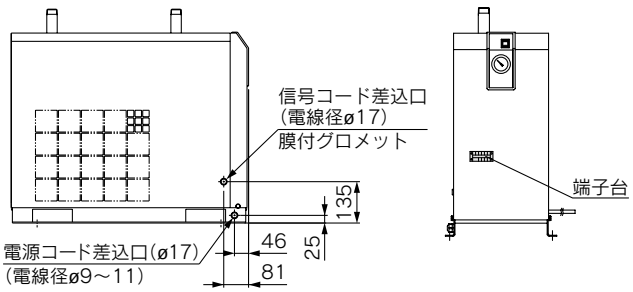
IDFA4E～15E



寸法表 (mm)

型式	A	B	C	D
IDFA4E,6E,8E,11E	32	230	67	179
IDFA15E	43	258	77	158

IDFA22E,37E



別売付属品

	内容	仕様	適用ドライヤ
防塵フィルタセット	ゴミやほこりの多い雰囲気の場合でも エアドライヤの性能低下を防止します。	最高周囲温度 40℃	IDFA3E～37E
基礎ボルトセット	エアドライヤを基礎に固定するための ボルトです。 芯棒を打込むだけの簡単施工	ステンレス製	IDFA4E～37E

型式表示方法

防塵フィルタセット

IDF－FL209

適用エアドライヤ

記号	適用ドライヤ
209	IDFA3E
202	IDFA4E
203	IDFA6E
204	IDFA8E
205	IDFA11E
206	IDFA15E
207	IDFA22E
208	IDFA37E

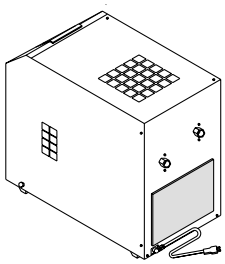
基礎ボルトセット

IDF－AB500

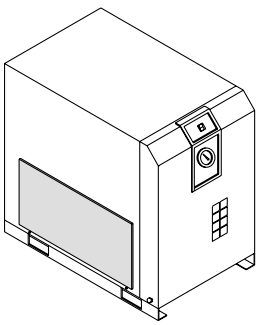
適用エアドライヤ

記号	適用ドライヤ
500	IDFA4E～37E

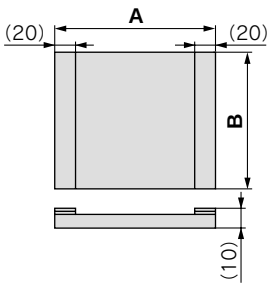
防塵フィルタセット／寸法表



（IDF-FL209）



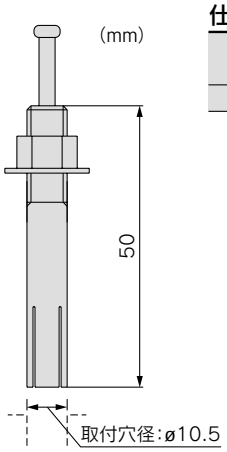
（IDF-FL202～208）



寸法表 (mm)

品番	適用ドライヤ	A	B	質量(g)
IDF-FL209	IDFA3E	220	240	35
IDF-FL202	IDFA4E	310	195	45
IDF-FL203	IDFA6E	375		55
IDF-FL204	IDFA8E	340	265	70
IDF-FL205	IDFA11E	375		75
IDF-FL206	IDFA15E	310	270	70
IDF-FL207	IDFA22E	420	315	100
IDF-FL208	IDFA37E	550	365	140

基礎ボルトセット／寸法表

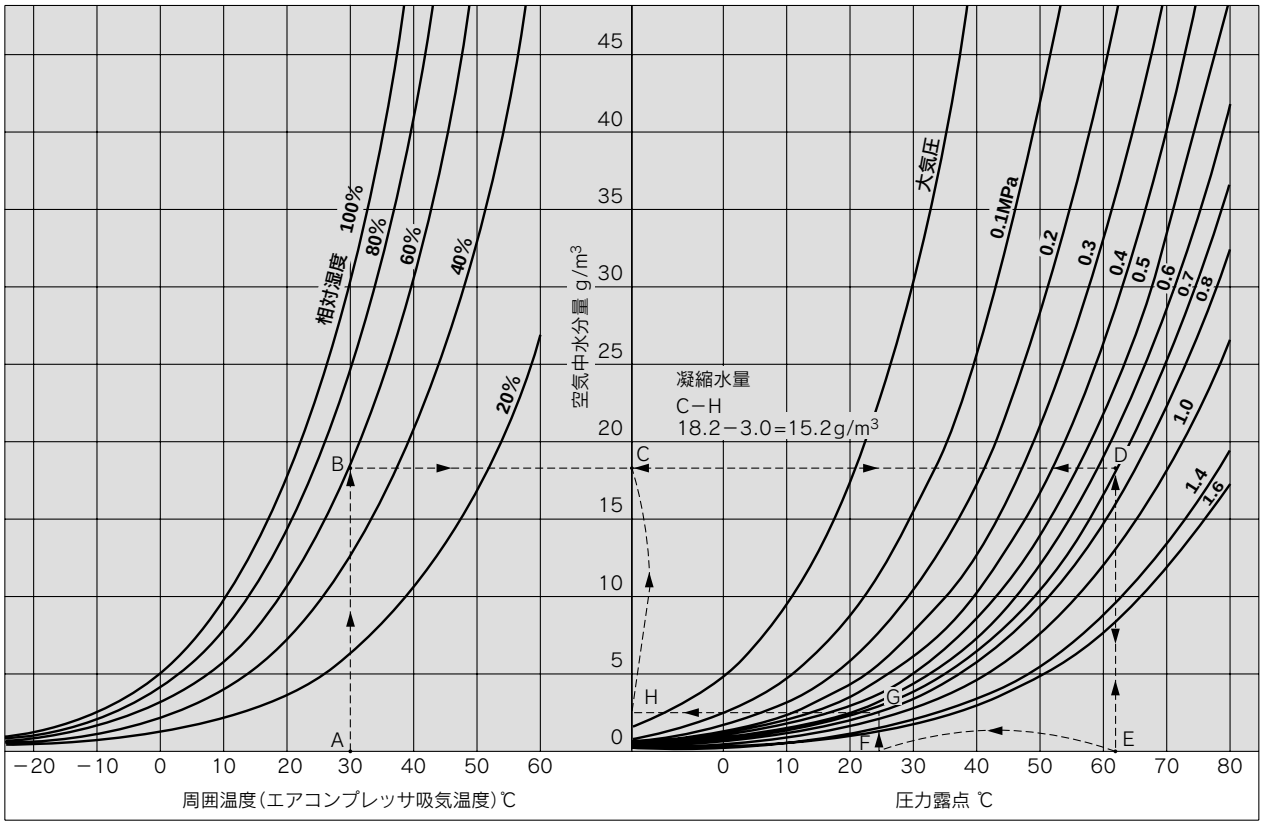


仕様表 (mm)

品番	適用ドライヤ	ねじの呼び	材質	1セットの個数
IDF-AB500	IDFA4E～37E	M10	ステンレス	4

資料

凝縮水量算出



＜凝縮水量の算出方法＞

(例)周囲温度30℃、相対温度60%に設置されているエアコンプレッサで0.7MPaまで加圧し、その圧縮空気を25℃まで冷却したときに凝縮する水分量を算出する場合。

①周囲温度30℃点Aを矢印に従って、相対温度60%の曲線との交点Bを求めます。

②交点Bを矢印に従って、圧力特性線0.7MPaとの交点Dを求めます。

③交点Dを矢印に従って、交点Eを求めます。

④交点Eが、周囲温度30℃、相対湿度60%を0.7MPaまで加圧したときの圧力露点になります。Eの値は62℃です。

⑤交点Eを上向き矢印に従い、交点Dで、左方向矢印に従い縦軸との交点Cを求めます。

⑥交点Cが、0.7MPa, 圧力露点62℃の圧縮空気1m³に含まれる水分量を示します。水分量は18.2g/m³です。

⑦冷却温度25℃(圧力露点25℃)Fを矢印に従って圧力特性線0.7MPaとの交点Gを求めます。

⑧交点Gから矢印に従い縦軸との交点Hを求めます。

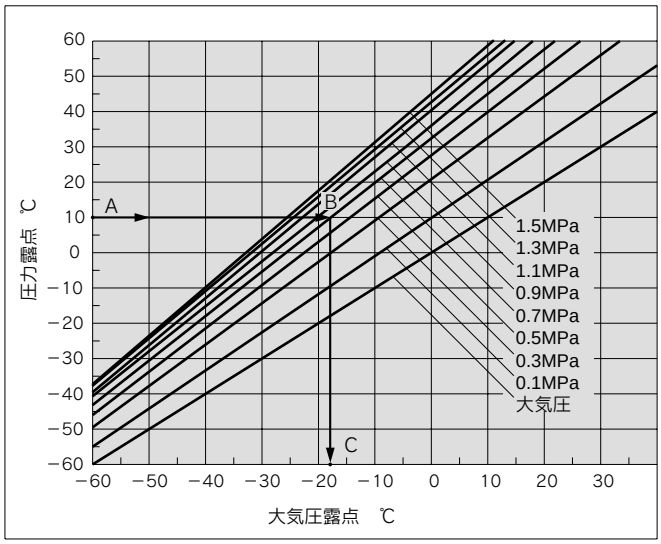
⑨交点Hが0.7MPa、圧力露点25℃の圧縮空気1m³に含まれる水分量を示します。水分量は3.0g/m³です。

⑩従って凝縮する水分量は下記のようになります。(1m³当り)

交点Cの水分量－交点Hの水分量＝凝縮する水分量

18.2−3.0＝15.2g/m³

露点換算図



＜露点換算図の見方＞

(例)圧力露点10℃圧力0.7MPaの大気圧露点を求める場合。

①圧力露点10℃点Aを矢印→に従って圧力特性線0.7MPaとの交点Bを求めます。

②交点Bを矢印→に従って大気圧露点との交点Cを求めます。

③交点Cが大気圧露点の換算値－17℃となります。

IDFA□E Series
安全上のご注意

ここに示した注意事項は、 製品を安全に正しくお使い戴き､あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。これらの事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「**危険**」「**警告**」「**注意**」の三つに区分されています。いずれも安全に関する重要な内容ですから､ISO 4414※1)､JIS B 8370※2) およびその他の安全規則に加えて、必ず守ってください。

■表示の意味

表示	表示の意味
⚠ 危険	切迫した危険の状態で、回避しないと死亡もしくは重傷を負う可能性が想定されるもの。
⚠ 警告	取扱いを誤った時に、人が死亡もしくは重傷を負う可能性が想定されるもの。
⚠ 注意	取扱いを誤った時に、人が傷害※3)を負う危険が想定される時、および物的損害※4)のみの発生が想定されるもの。

※1）ISO 4414： Pneumatic fluid power – General rules relating to systems
※2）JIS B 8370：空気圧システム通則
※3）傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
※4）物的損害とは、機器・装置などにかかわる拡大損害をさします。

■選定／取扱い／用途について

①空気圧機器の適合性の決定は､空気圧システムの設計者または仕様を決定する人が判断してください。
ここに掲載されている製品は、使用される条件が多様なため、そのシステムへの適合性の決定は空気圧システムの設計者または仕様を決定する人が、必要に応じて分析やテストを行ってから決定してください。このシステムの所期の性能、安全性の保証は、システムの適合性を決定した人の責任になります。これからも最新の製品カタログや資料により、仕様の全ての内容を検討し、機器の故障の可能性についての状況を考慮してシステムを構成してください。

②充分な知識と経験を持った人が取扱ってください。
圧縮空気は、取扱いを誤ると危険です。空気圧機器を使用した機械・装置の組立てや操作、メンテナンスなどは、充分な知識と経験を持った人が行ってください。
（充分な知識には、JIS B 8370「空気圧システム法則」およびその他の安全規則の理解を含みます。）

③安全を確認するまでは､機械・装置の取扱い､機器の取外しを絶対に行わないでください。
1.機械・装置の点検や整備は､被駆動物体の落下防止処置や暴走防止処置などがなされていることを確認してから行ってください。
2.機器を取外す時は、上述の安全処置がとられていることの確認を行い、エネルギー源である供給空気 と該当する設備の電源の供給を遮断し、システム内の圧縮空気を排気すると共に、全てのエネルギー（液圧・スプリング・コンデンサ・重力）を開放してから行ってください。
3.機械・装置を再起動する場合、飛出し防止処置がなされているか確認し、安全を確認してから行ってください。

④次に示すような条件や環境で使用する場合は、安全対策へのご配慮を戴くとともに、当社にご確認くださるようお願い致します。
1.明記されている仕様以外の条件や環境、屋外や直射日光が当たる場所での使用。
2.原子力、鉄道、航空、車両、医療機器、飲料・食料に触れる機器、娯楽機器、緊急遮断回路、プレス用クラッチ・ブレーキ回路、および安全機器などへの使用。
3.人や財産に大きな影響が予想され、特に安全が要求される用途への使用。
4.インターロック回路に使用する場合は、故障に備えて機械式の保護機能を設けるなどの2重インターロック方式にしてください。また、定期的に点検し正常に動作している事の確認を行ってください。

■免責事項について

①地震および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
②本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
③カタログ・取扱説明書で説明された以外の方法、および仕様範囲を超えたことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
④当社が関与しない接続機器、ソフトウエアとの組合せによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

IDFA□E Series／製品個別注意事項①

ご使用の前に必ずお読みください。
清浄化機器／注意事項については、「空気圧機器取扱い注意事項」(M-03-3)をご確認ください。

避けていただきたい設置場所

⚠ 注意

●雨や風が直接当る場所や湿気の多い所。(相対湿度85%以上の所)
●直射日光が当る所。
●ちりやほこりの多い所や腐食性ガスや可燃性ガスがある所。腐食による故障は保証の範囲外となりますが、腐食による影響を低減させたい場合にはオプションC(銅管防錆処理)をお選びください。
●換気が悪く、暑い所。
●周囲は壁などから型式に応じて離してください。
●エアコンプレッサまたは他のドライヤの排風空気(熱風)を吸い込むおそれのある所。
●震動がある所。
●ドレンが凍結するおそれのある所。
●周囲温度は40℃以上の場所。
●車両、船舶等輸送機械上への設置。

ドレンチューブについて

⚠ 注意

●IDFA3E～37Eはドレンチューブとしてポリウレタンチューブがとりつけられています。ドレンタンクなどへドレンが流れ込むようにしてください。
●ドレンチューブは立ち上げたり、折ったり、つぶしたり、過度の抵抗をかけないようにしてください。(オートドレンが作動せず、水分が空気出口側へ流れ出てしまいます。)

電源について

⚠ 注意

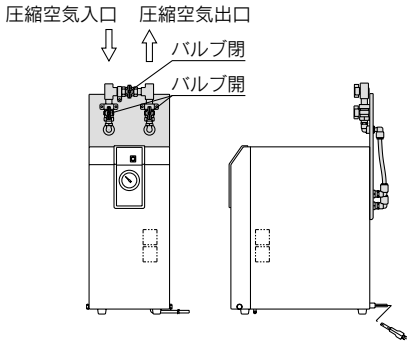
〈AC230Vタイプの場合〉
●電源は端子台に接続してください。
●電源には各型式に応じた容量の漏電ブレーカを設置してください。
●電圧変動は定格電圧の±10%の範囲内におさえてください。

空気配管について

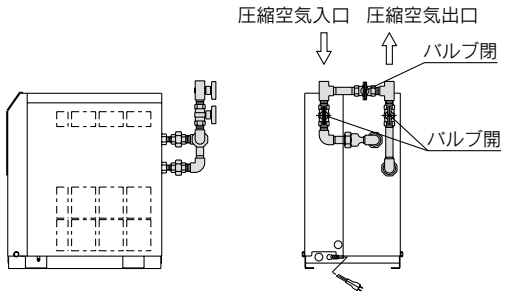
⚠ 注意

●圧縮空気入口(IN)と圧縮空気出口(OUT)への接続はまちがえないように十分注意してください。
●バイパス配管を設けてください。(メンテナンスの際に必要ですので必ず設けてください。)

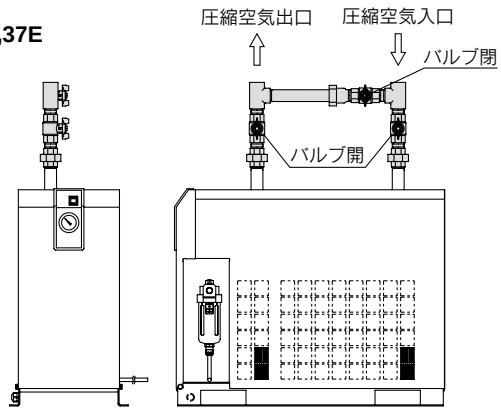
IDFA3E



IDFA4E～15E



IDFA22E,37E



●空気出入口管の締め付け作業の際は、ドライヤ側のポートの六角部分または配管をスパナまたはモンキーレンチで押えて行ってください。
●使用条件によって出口配管表面が結露する場合があります。結露を防止するには、配管部分に断熱材を巻いてください。
●エアコンプレッサの振動がドライヤに伝わらないようにしてください。
●配管重量が直接ドライヤにかからないようにしてください。

IDFA□E Series／製品個別注意事項②

ご使用の前に必ずお読みください。
清浄化機器／注意事項については、「空気圧機器取扱い注意事項」(M-03-3)をご確認ください。

保護回路について

⚠ 注意

次のような状態で運転されますと、保護回路が作動し、ランプが消え、運転が停止することがあります。

- ●圧縮空気温度が高過ぎる。
- ●圧縮空気流量が多過ぎる。
- ●周囲温度が高過ぎる。(40℃以上)
- ●電源電圧の変動が定格電圧の±10%以内 に入っていない。
- ●エアコンプレッサまたは他のドライヤの排風空気(熱風)を吸い込んでいる。
- ●通風口が壁やほこりでふさがれている。

エアコンプレッサの吐出空気量について

⚠ 注意

IDFA3E～37Eは100ℓ/min以上のエアコンプレッサにご使用ください。

IDFA3E～37Eのオートドレンは空気圧が0.15MPa以上にならないと弁が閉まらない構造のため、エアコンプレッサの運転開始時には、圧力が上昇するまでドレン排出口から空気が吹き出します。そのため吐出空気量が少ないエアコンプレッサでは圧力が上昇しないことがありますのでご注意ください。

オートドレンについて

⚠ 注意

圧縮空気の質によっては、オートドレンがスムーズに作動しなくなることがあります。1日に1回はドレンが排出されることを確認してください。

通風口部分の清掃

⚠ 注意

毎月1回は通風口部分のほこりを、電気掃除機やエアブローノズルなどで取除いてください。

運転の再開時間

⚠ 注意

運転を停止させてから次の運転までは少なくとも3分以上の時間をとってください。3分以内に運転を再開すると保護回路が作動し、ランプが消え、運転できない場合があります。

IDF/IDU□E Series

処理空気量 MAX. **40%増** (当社比)　　**消費電力** MAX. **40%減** (当社比)

冷媒 **R134a(HFC)**
R407C(HFC)

ステンレス製熱交換器採用により
耐食性向上(IDF4E～75E/IDU3E～15E)

オゾン破壊係数 "0"

シリーズ	型式	処理空気量m³/min(ANR) 50Hz	処理空気量m³/min(ANR) 60Hz	適用エアコンプレッサ出力(目安) スクリュータイプの場合(kW)	使用冷媒	定格入口条件	接続口径
標準入気 IDF	IDF1E	0.10	0.12	0.75	R134a(HFC)	35℃ 0.7MPa	Rc3/8
	IDF2E	0.20	0.235	1.5			
	IDF3E	0.32	0.37	2.2			
	IDF4E	0.52	0.57	3.7			Rc1/2
	IDF6E	0.75	0.82	5.5			Rc3/4
	IDF8E	1.22	1.32	7.5			
	IDF11E	1.65	1.82	11			
	IDF15E	2.8	3.1	15			Rc1
	IDF22E	3.9	4.3	22	R407C(HFC)		R1
	IDF37E	5.7	6.1	37			R1 1/2
	IDF55E	8.4	9.8	55		40℃ 0.7MPa	R2
	IDF75E	11.0	12.4	75			
高温入気 IDU	IDU3E	0.32	0.37	2.2	R134a(HFC)	55℃ 0.7MPa	Rc3/8
	IDU4E	0.52	0.57	3.7			Rc1/2
	IDU6E	0.75	0.82	5.5			Rc3/4
	IDU8E	1.1	1.2	7.5			
	IDU11E	1.5	1.7	11			
	IDU15E	2.6	2.8	15			Rc1
	IDU22E	3.9	5.7	22	R407C(HFC)		R1
	IDU37E	4.3	6.1	37			R1 1/2

⚠ **安全に関するご注意** ご使用の際は「空気圧機器取扱い注意事項」(M-03-3)をご確認の上、正しくお使いください。

SMC株式会社 URL http://www.smcworld.com
東京営業所TEL.03-5207-8260 名古屋営業所TEL.052-461-3400 大阪営業所TEL.06-6459-5160
営業所　／仙台・大宮・東京・厚木・静岡・豊田・小牧・名古屋・金沢・京都・門真・大阪・岡山・広島・福岡
出張所　／札幌・郡山・山形・茨城・宇都宮・太田・長岡・千葉・西東京・横浜・甲府・諏訪・長野・沼津
浜松・豊橋・四日市・富山・滋賀・奈良・南大阪・尼崎・神戸・姫路・高松・松山・福山・山口
北九州・熊本・南九州
草加工場／〒340-8659埼玉県草加市稲荷6-19-1 TEL.0489-35-5707
筑波工場／〒300-2593茨城県常総市大生郷町6133 TEL.0297-24-5600

お客様技術相談窓口 フリーダイヤル 0120-837-838
受付時間 9:00～17:00【月～金曜日】

代理店

㊟このカタログの内容は予告なしに変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
©2006 SMC Corporation All Rights Reserved

D-DN
初版KW印刷KW 300KS
このカタログは地球環境保護のため再生紙を使用しています。